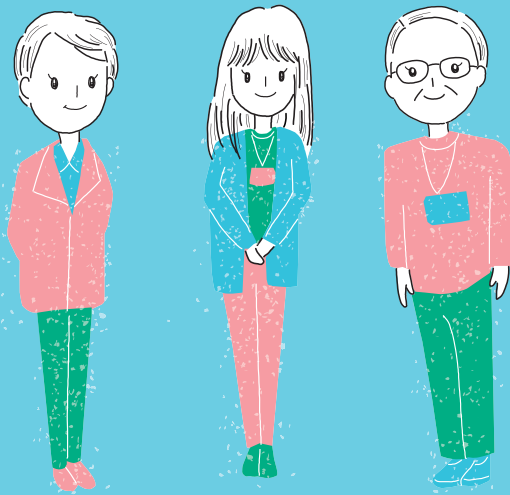


# つながるスイッチ!! 久留米市社会福祉協議会



## vol.25 支え合い推進会議 —その⑬— 「田主丸校区」の 取り組み

今回は「田主丸校区」をご紹介します。

田主丸校区社会福祉協議会

会長 清水憲一さん

田主丸校区まちづくり振興会

事務局長 鹿毛晃二さん

「ささえあいの会  
なんかかせし隊」  
スタート

田主丸校区では令和2年9月に校区  
全世帯を対象としたアンケート調査  
(困りごと・協力者)を実施しました。  
「アンケートの結果、ゴミ出し支援や  
家の片付け、庭の剪定などの困りごと  
が上がつてきました。まずは、取り組  
みやすいゴミ出し支援からスタートす  
ることにしました」と清水さん。何度も  
話し合いを重ね、令和4年10月に  
「ささえあいの会なんかかせし隊」  
(以下…かせし隊)が誕生しました。  
しかし、かせし隊は、ゴミ出し支援を  
する団体として発足したものの、活動  
していたのが1つの自治会のみだつた  
うえ、依頼自体もなかなかありません。  
改めて「かせし隊」の活動内容を見直す  
ことにしました。

「依頼を待っているだけでなく、私たち

から校区の皆さんに近づいていかないと  
いけない。田主丸校区では民生委員を  
中心に見守り活動が取り組まれてきま  
したが、「かせし隊」でも見守り活動に  
取り組むことにより、関係づくりの  
きっかけにしてはどうかと考えました」と  
鹿毛さん。

現在は、ゴミ出し支援と見守り活動が  
「かせし隊」では取り組まれています。

「ささえあいの会  
なんかかせし隊」の  
拡がり

元々、田主丸校区では、サロン活動や  
子ども食堂など様々な活動が行われ  
ていました。仲間を増やすため、それ  
ぞれに声をかけ、賛同された人が  
「かせし隊」に加入。現在39名が登録  
されています。「いずれは子ども食堂、  
サロン、見守り訪問、食事サービスなど、  
活動している全員に『かせし隊』へ登録  
してほしいです。『かせし隊』発展のため、  
全員で協力して取り組んでいます」と  
清水さん。「かせし隊」は、見直しを続け、  
日々パワーアップしています。

### 田主丸校区の特徴

久留米市内でも有数の自治会数を  
誇る田主丸校区。全部で39の自治会



がありますが、多いからこそその苦労が  
あるそうです。「会議を行なっても、な  
なかな意見がまとまりません。ゴミ出し  
支援も、もともとはサロンを実施して  
いる自治会で、齊にスタートする予定  
でしたが、全自治会が同じ方向を向く  
のは難しい。だったらできる自治会から  
始めて、徐々に活動の輪が広がって  
いけば良いと思います」と、力  
強く清水さんは話されます。「まとも  
ないから諦めるのではなく、少ない人数  
でも活動を始め、その活動に周りが  
気付けて仲間が増えていく…その  
ような校区になりたいですね。常に臨機  
応変に対応し、田主丸校区はパワ  
ーアップしていきます!」と、鹿毛さんの  
言葉も力強いです。



## 活動を通して思うこと、 これからのこと

### ● 清水さん

みんなが楽しく過ごせる校区になれるよう、これからも尽力していきたいです。また、10年後、20年後を見据えて動かなくてはいけないと感じています。そのためにも、これから校区を担っていく10代、20代の若い人にも会議に入ってもらい意見を聞きたいです。若い人たちの意見を汲み取って、私たちがバックアップしていきたいですね。「かせし隊」では、他の困りごとにも対応できるようになりたいです。昨年水害を経験したこ



かせし隊活動時に着用するユニフォームとエプロン

とで、校区の防災面も強化していきたいと強く思いました。課題ややりたいことはたくさんです！

### ● 鹿毛さん

校区内でたくさんの方のサロンやイベントを立ち上げていきたいと思っています。一人暮らしの高齢者や、外部との交流を持たない人など、手を差し伸べるべき方がまだまだ多くいらっしゃいます。そういう人たちに、外に出る機会や場をたくさん用意したいです。強引に外に出ようと誘うのではなく、自発的に興味を持って外に出てもらうことが大事だと思います。そのためにも様々な面白い企画を行うことが大事です。今、校区全体を対象とした集いの場の立ち上げを検討中で、上映会や講師を呼んでセミナー開催などをする予定なんです！「かせし隊」に参加したい人も増やしていきたいです。若い人たちにも参加してもらい、次の担い手探しも動かないといけません。今後も目標を作り、それを1つ1つ進め、解決していこうと思います。

## 取材を終えて

熱い想いを持つ清水さんと鹿毛



鹿毛 晃二さん 是松 真由美さん (コミセン事務局長) 清水 憲一さん

元自衛隊の清水さん。取材中、ずっと姿勢も良くハキハキと受け答えされていました。1日の終わりの晩酌が一番の楽しみだそう。読書、釣り、写真など多趣味の鹿毛さん。自分の小さな出来事を紹介するような広報紙を作りたいそうです。

さん。「清水水会長がおられたからこそまでやってこられました」と話す鹿毛さん。ほぼ同じ時期に就任し、田主丸校区に関わるようになったお二人は同志のように強い絆で結ばれているようでした。39の自治会全部と一緒に進むのは難しい。ただ難しいからと足を止めるのではなく、今活動している既存の団体に声をかけ、できるメンバーから活動を始め、徐々に仲間の和を上げていきました。自治会が多い校区だからこそ苦労があり、でも新たな形を見つけて進み続ける田主丸校区の力強さを感じることができた取材でした。

- 令和4年10月「ささえあいの会なんかかせし隊」スタート
- ゴミ出し支援だけでなく、見守り訪問活動も行い、私たちから地域の皆さんに近づいていく
- サロン活動や子ども食堂など既存の活動・団体に声をかけ仲間にする
- できる自治会から活動をスタートさせ、徐々に仲間を増やしていく

## 久留米市社会福祉協議会

〒830-0027 久留米市長門石1-1-34  
TEL: 0942-34-3035  
FAX: 0942-34-3090  
メール: [heartful@heartful-volunteer.net](mailto:heartful@heartful-volunteer.net)  
HP: <http://www.heartful-volunteer.net>

つながるスイッチ!!はHPでもwebマガジンでも掲載中

久留米市社会福祉協議会 検索

### webサイト

[note一つくる、つながる、とどける。]で「つながるスイッチ!!」を検索してください!

#久留米市 #社協 #地域 #福祉 #地域福祉 #支え合い #見守り #サロン #子ども食堂

